

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日： 令和 6年 3月 8日

事業所名：ハッピードア

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	小部屋を開放し室内のテーブル等の配置を見直し、以前より遊んだり、勉強したりできるスペースを拡張し児童が楽しく安全に過ごせるように努めている	はい50% どちらともいえない30% わからない20%	日々の安心、安全な環境、快適な環境・空間を整え、さらなる安全・快適に考慮した室内環境・設備を整えるように努める
	2 職員の適切な配置	知的・肢体の児童がいるので、どの児童にも目が行き届くように、室内での職員の配置や児童のニーズに合わせてられる職員の対応を心がけている	はい60% どちらともいえない20% わからない20%	さらに質の高いサービスを提供できるよう、職員の資質向上に努める
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	小部屋を開放し児童の特性に配慮し、静かに過ごせる場所と安全に室内での活動を行える場所を分けた	はい90% わからない10%	児童の成長、特性に対応した室内環境、設備等を考慮し必要に応じて対応するように努める
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	児童の特性に合わせて、室内の配置を変更したり、日々の清掃活動や設備の見直しを行っている	はい90% わからない10%	現行維持
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月例の会議や臨時会議、朝礼を開き職員の声を具体的に反映できるようにしている		現行維持
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	送迎時の保護者とのやりとりの中で得た情報を職員で共有し改善に生かしている		現行維持
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月例会議の後に自発管を講師として研修会を開いている		現行維持
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者のニーズや課題から今後の支援方針を話し合い、支援計画の見直しを行っている		現行維持
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	日頃の観察から必要と思われる児童をピックアップし今後の支援方針を話し合い支援計画を見直している	はい80% どちらともいえない20%	現行維持

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	児童の特性や興味を生かした活動を取り入れている		現行維持
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	児童の特性、興味や心理状態、成長度に合わせて児童のペースで活動を行っている	はい90% どちらともいえない10%	現行維持
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	児童達が来所する前に職員で活動内容を話し合い必要な準備を行っている		現行維持
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	季節ごとの行事など、児童達が楽しめる企画を考えている(装飾等含めて)		現行維持
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	児童の成長度や興味、関心に合わせて対応するようにしている	はい60% どちらともいえない20% わからない20%	現行維持
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	その日の活動内容の確認(役割含む)や児童の前日の様子を共有し当日の様子も踏まえて支援をおこなっている(支援内容については職員で共通理解を図っている)		現行維持
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	日誌や口頭での必要な情報共有を行い、共通理解を図り、重要な事項はホワイトボード等へ書き、必要な対応を話し合う		現行維持
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個人ファイルに必要な情報を記入し、日々の支援に反映を行えるようにしている		現行維持

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	必要に応じて、モニタリング会議を行い児童の今後の支援方針を話し合い支援計画の見直しを行っている		現行維持
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在医療ケアが必要な子どもはいないが、痙攣時保護者と連携しながら痙攣止めの薬を投与したり、迎えに来て頂く等の対応をしている。保護者の指示のもと緊急の場合は救急車を呼ぶことになっている。	現行維持
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		現行維持
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて資料を作成し情報を共有するようにしている	現行維持
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	必要に応じてそれまでの支援内容がわかる資料の作成、情報提供を行うつもりである	現行維持
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修案内が来た場合職員で閲覧し都合がつく場合は受講するように推進している	現行維持
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	今年度はコロナ対策が緩和されたが社会的には警戒傾向にあった為、特に他事業者との交流はおこなっていない	はい20% どちらともいえない10% いいえ30% わからない40%

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	恒例行事として福祉センターでおもちつき会を実施している。地域の方々にも周知しおもちの提供している。今年度は開催時期には社会的な警戒も薄れ、開催でき地域住民との交流を持てる機会があった。		来年度はコロナ以前に行っていた行事や、交流できる機会の提供を考えており、出来るだけたくさんの行事・交流が行えるように考えている
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	連絡帳を通して保護者に事業所での様子を伝えている。また、送迎時にも職員から必要な事は直接伝えるようにしている	はい70% どちらともいえない10% いいえ20%	より丁寧に支援内容等の理解を得られるよう対応していく
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画配布時に支援内容の説明を行っている	はい60% どちらともいえない20% いいえ20%	個々に時間を取って説明を行おうと考えている
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	特に行っていないが、相談があった場合には相談にのっている	はい30% どちらともいえない40% いいえ30%	現行通り、相談等があった場合は真摯に対応していく
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳、送迎時やラインなどを使って共通理解を図っている	はい100%	現行維持
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	本デイサービスの統括主任が窓口になって、子育ての悩みを共有しながら助言を実施している	はい20% どちらともいえない40% いいえ40%	現行維持
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナ感染防止の観点から父母会等の実施は、自粛していた	はい30% どちらともいえない30% いいえ30% わからない10%	来年度は交流できる機会の提供を検討し出来るだけ保護者様の交流が行えるように考えている
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	統括主任が窓口になって対応している。必要に応じて集を開き問題と対応の共通理解を行っている	はい80% わからない20%	現行維持
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	連絡帳や送迎時の会話を通して意思の疎通を図っている	はい100%	障害のある児童に対してはこれからも「共感」をキーワードに接するようになりたい

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	年間の大まかな活動については書面にて配布している	はい50% どちらともいえない30% いいえ20%	もう少し具体的な年間計画や行事等のお知らせも発行していきたい
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報に関係するものについては外から見えないチャックのついている物でやり取りするようにしている	はい100%	現行維持
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	毎年、対応マニュアルを見直し、本事業所にて変更があった場合は書面にて配布を行っている	はい80% どちらともいえない20%	毎年、年度当初に配布するとともにインスタグラムにもあげ、保護者への周知を図る
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	5月(地震)10月(火災)に避難訓練を行っている	はい60% どちらともいえない20% いいえ20%	実施しているが、保護者にはどのような訓練をしているか様子が見えないので職員の訓練の様子なども配信するようにしたい、またインスタグラムに様子を挙げていることも連絡帳等で知らせるようにしたい
	3	虐待を防止するための職員研修機等の適切な対応	虐待の研修は月例会議の児発管を講師として行っている		現行維持
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、拘束が必要な児童はいない		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギー等の情報は職員間で情報共有している。おやつはアレルギー等に配慮している		現行維持

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	インシデントに至らない事案はヒヤリハットに書き残すようにしている。またその事案を共有するために全員が目を通したかチェックしている		現行維持